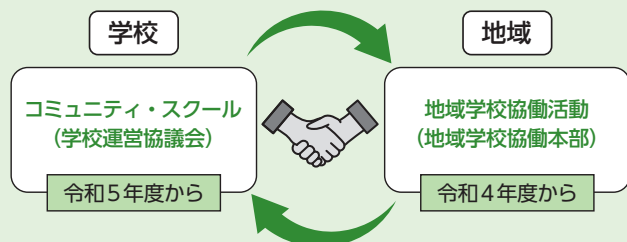


子どもたちと地域の未来のために コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動

学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校と地域がパートナーとしてさまざまな活動を行う「地域学校協働活動」を一体的に推進しています。



学校と地域の連携と協働を目指して

急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑・多様化しています。こうした状況の中「よりよい学校教育を通じて よりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、相互の連携・協働の下で学校づくりと地域づくりを進め、一体となって未来を担う子どもたちの成長を支えていくことが必要となっています。

市では、令和4年度から中学校区ごとに選定したモデル校(矢指小、共和小、滝郷小、飯岡小、古城小)に地域学校協働本部を設置し、体験活動や地域行事への参加などの「地域学校協働活動」に取り組んでいます。

令和5年度は、これらのモデル校に「コミュニティ・スクール」として、保護者や地域住民などで構成する学校運営協議会を設置します。

令和4年度の地域学校協働活動を紹介します

●矢指小

小学4・5年生と矢指地区のシニア世代で、グラウンド・ゴルフ大会を行いました。児童とシニアが一緒にコースを回り、楽しみながら地域の人たちとのつながりをつくりました。



グラウンド・ゴルフで交流

●古城小

古城地区社協を中心とした地域の人たちの協力の下、田植え・稲刈り体験を行いました。体験を通して自分たちの住む地域のことを知り、郷土に対する思いを深めました。



秋の稲刈り体験

広報で振り返る あの日あのときのあさひ

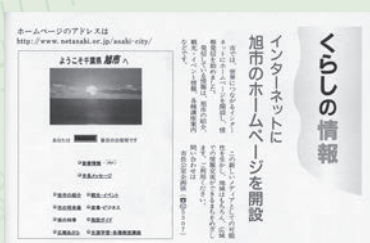
第9回

1997年(平成9年)6月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今号は広報あさひ平成9年6月1日号を紹介します。特集は、旭市総合体育館の開館記念式典です。式典には300人を超える招待者が出席したほか、記念イベントとして社会人チームによるバレーボールの試合が行われ、日本トップクラスのプレーが披露されました。

そのほかでは、市ホームページの開設を報じています。インターネットの利用拡大とともに、情報発信の新しい手段として、この頃からホームページを開設する自治体が全国で増えていきました。



市ホームページの開設

平成9年の主な出来事

- 消費税率が3%から5%に引き上げ
- サッカー日本代表がW杯本大会初出場を決める

未来に向かい 健康で 躍動するまちに… 総合体育館開館記念式典



▲旭市市長の式辞
開館への期待と感謝の思いをこめて



▲旭市の大勢の空手道大会

